

2026 年度佐賀大学大学院地域デザイン研究科試験問題 専門科目

【出題意図】

各問は、都市経済学を学ぶ上で、最低限必要となる理論（考え方）、作図、計算に対する理解を問うものである。

第1問（配点 30 点）

本問は、都市経済学において、金融政策や財政政策によって、住宅市場（住宅戸数）の拡大が促されていることに関して、ユーザーコストを使い、図解によって説明できるかどうかを問うものである。金融政策は金利、財政政策は税金を通じて、ユーザーコストに作用することを確認し、それらの効果が住宅市場（住宅戸数）の拡大（縮小）に影響を与えることを問うものである。

第2問（配点 40 点）

本問は、公営住宅など公共財の供給において、最適供給条件を問うものである。限界便益と限界費用の等しくなる点を一階条件のもと計算できるかを問うものでもある。

第3問（配点 30 点）

都市経済学において、都市（都心）になぜヒト・モノ・カネ・情報が集まってくるのか、その理由を face to face communication と関連付けて説明できるかどうかを問うものである。外部効果の役割を理解しているかどうかを問うものでもある。